

コブシメの水槽内採卵と卵のふ化

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岡, 雅一, 手塚, 信弘, 伏見, 浩 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014338

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



コブシメの水槽内採卵と卵のふ化

岡 雅一，手塚信弘，伏見 浩

小型定置網で漁獲され水槽内で飼育された親イカを用いて、昭和 61～63 年に 3 回の採卵試験を行った。水槽内に設置した枝状ハマサンゴ塊あるいは人工産卵床等は産卵行動を解発する鍵刺激の役割を果たすと推測され、また卵の付着基盤となる。これらの設置および、取り揚げ頻度の増加によって、昭和 63 年次には雌 1 尾当たりの平均産卵数 1512 個、総採卵数 19653 個、平均ふ化率 48.8% の結果を得た。また、5 月中～下旬以後、採卵された卵の卵黄重量は減少し、受精率・ふ化率の低下とふ化イカの小型化が顕著であった。

栽培技研, 18(1), 1-14 (1989)